

ゆっくりと、でも確実に居住支援協議会の設置に向けて進んでいます！！

この号の内容

1. 2025年8月28日 開催 居住支援(住宅セーフティネット)に係る研修会
2. 2025年9月26日 開催 第2回 居住支援に係る勉強会
～居住支援に関する不動産の課題などを共有しよう～

1. 2025年8月28日 開催 居住支援(住宅セーフティネット)に係る研修会

2025年8月28日(木曜日)に「障害者における住まいの課題について」と題として、第4回 居住支援協議会設立に向けた府内検討会議を開催しました。この会議には市健康福祉部、千葉県住宅課、市原市住宅政策課、市原市共生社会推進課、八千代市社会福祉協議会など27名の参加がありました。

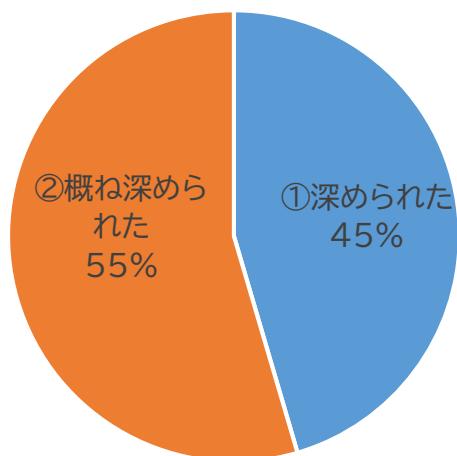


今回の府内検討会議の内容は、「障害者における住まいの課題について」でした。中核地域生活支援センター(まるっと)センター長 様、八千代地域生活支援センター 様を講師として迎え「障害を持つ人の住まいの課題」について説明をして頂きました。

その後、意見交換を行い、

- ・精神障害のある方はグループホームが合わないため、支援者がアパート探しに奔走するということ。
- ・一度信頼関係を築いた不動産会社さんは、他の方(入居希望者)でも受け入れてくださることがあるということ。
- ・「精神障害をお持ちの方は、グループホームに向いていない場合がある」というお話を聞き、ステレオタイプに「精神障害者の住まい=グループホーム」と考えていましたが、いかに支援者目線だったのかを思い知らされた。
- などの意見がありました。

○アンケート結果 1.研修会の内容について



2. 2025年9月26日 開催 第2回 居住支援に係る勉強会

2025年9月26日(金曜日)に「第2回 居住支援に係る勉強会～居住支援に関する不動産の課題などを共有しよう～」と題として、第2回の居住支援勉強会を開催しました。勉強会には一般社団法人 千葉県居住支援法人協議会や八千代市社会福祉協議会など30名の参加がありました。

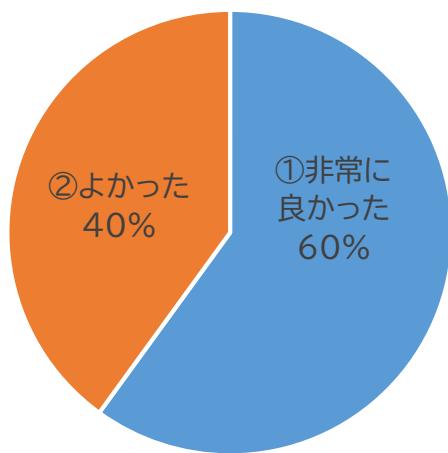


「不動産」に特化テーマとし、千葉県居住支援法人協議会様、UR都市再生機構様、(株)金田臨海総合様を講師に迎え、対応事例を踏まえながら説明をして頂きました。改正セーフティネット法によって、居住支援法人の業務に「残置物の処理(残置物処理等業務)」が追加されこともありタイムリーなテーマとなりました。

その後、パネルディスカッションを行いました。参加者の意見としては、

- ・残置物処理や特殊清掃に関する話がとても具体的であり、居住支援を考える上で、貸主側も福祉関係者にも興味がある内容だったのではないかと思う。一般廃棄物に関する処理方法について知る機会は少ないため、理解を深めることができてよかったです。
- ・4つの居住支援(支援、不動産、家賃保証、福祉)について、4つともできるオールマイティな法人が希有であることがよくわかった。保険利用や家賃保証についてなど、具体的な事例の説明があり、非常に勉強になった。

○アンケート結果 1. 勉強会の全体評価について



アンケートへのご協力ありがとうございました。

ご回答いただいたご意見は、今後の運営に役立たせていただきます。今後も皆さんと居住支援の輪を広げていきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願ひいたします。

八千代市都市整備部建築指導課

〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田 312-5
TEL047-421-6773

現在、千葉県と八千代市主催で、(仮称)居住支援シンポジウムの開催に向けて準備を進めています。

開催日は、2026年2月9日(月曜日) 会場は、セントラルスポーツ生涯学習プラザ 多目的ホール(八千代市ゆりのき台3丁目7番3)になりますので、ご参加の程よろしくお願いします。

シンポジウムの内容については、今後公表していきます。